

中国語の行為解説の進行形 The interpretive use of the progressive in Chinese

三宅 登之

東京外国語大学大学院総合国際学研究院

MIYAKE Takayuki

Institute of Global Studies, Tokyo University of Foreign Studies

はじめに

1. 先行研究
 - 1.1. 英語の行為解説の進行形
 - 1.2. 中国語における指摘
2. 実例分析
 - 2.1. “在”＋動詞
 - 2.2. “是”＋“在”＋動詞
 - 2.3. “像／好像／仿佛／似乎”（＋“是”）＋“在”＋動詞
3. 行為解説機能の発生原因と表現意図
 - 3.1. “在”による行為の前景化
 - 3.2. 焦点マーカ―“是”による行為の焦点化
 - 3.3. 行為解説の進行形の表現意図

おわりに

キーワード：“在”，進行形，行為解説，前景化

Keywords: *zai*, progressive, interpretive, foregrounding



本稿の著作権は著者が所持し、クリエイティブ・コモンズ表示4.0国際ライセンス(CC-BY)下に提供します。
<https://creativecommons.org/licenses/by/4.0/deed.ja>

要旨

進行相を表すアスペクト形式は英語にも中国語にも存在する。英語の進行形には、行為の進行を表す典型的な用法以外にも、ある行為に対してそれがどのようなものであるかという解説を加える「行為解説の進行形」と呼ばれる形式があることが、先行研究で指摘されている。一方、中国語では副詞“在”を用いて行為の進行が表されるが、中国語においても同様の用法があるかどうかについては、先行研究で言及されていない。本稿は英語における行為解説の進行形とは何かについて概観した後、中国語においても副詞“在”が行為解説の機能を持つ場合があることをコーパスの実例で示す。次に、行為解説の機能は、行為が“在”によって前景化されたり、焦点マーカー“是”によって焦点化されたりすることによって実現されていることを述べる。最後に、行為解説の進行形は「目的段階を含めた行為の読み直し」という表現意図を持っている形式であることを論証する。

Abstract

Aspect forms expressing progressive phases exist in both English and Chinese. In addition to the typical use of the progressive form to express the progression of action, previous studies have pointed out that there is a form called “the interpretive use of the progressive,” in which an explanation of the nature of the action is added to a certain action. On the other hand, in Chinese, the adverb *zai* is used to express the progression of action, but no previous research has mentioned whether or not the same usage exists in Chinese. This paper reviews what the interpretive use of the progressive is in English and then shows that the adverb *zai* sometimes shows the interpretive use of the progressive in Chinese as well, using examples from a corpus. Next, it is shown that the interpretive use of the progressive is realized by foregrounding the action with *zai* and focusing it with the focal marker *shi*. Finally, I will argue that the interpretive use of the progressive is a form that has the expressive intention of rereading the action including the objective phase.

はじめに

本稿は、英語との対照の視点から、中国語の進行相 (progressive aspect) を表す形式の一特徴を論じるものである。

進行相を表すアスペクト形式は、英語にも中国語にも存在する。英語では「be 動詞 + 動詞の ing 形」が進行形 (progressive) として用いられる。中国語では、副詞“在”“正”“正在”が動詞の前に生じ、行為の進行を表す。また、語気助詞“呢”にも行為の進行を表す機能があるという立場もある。本稿は中国語の進行相を体系的に記述することを目的としたものではないので、以下では考察対象を副詞“在”を用いた形式に限定する。

本稿が研究対象とするのは、進行形のうち、「行為解説の進行形 (the interpretive use of the progressive)」と呼ばれる形式である。英語学ではいくつかの先行研究がこの形式を取り上げ分析して

いるが、中国語において同様の用法があるかどうかについては、管見の限りでは先行研究での指摘はあまりない。本稿ではまず、英語における行為解説の進行形とは何かについて、先行研究の指摘をまとめる。次に、中国語において同様の意味機能を表す実例を分析する。さらに、中国語の行為解説の進行形とは何を表す形式なのかという表現意図について、本稿の主張を述べる。

1. 先行研究

1.1. 英語の行為解説の進行形

進行形は、ある基準時において行為が進行中であることを表す言語形式である。したがって進行形で表される行為は一定時間継続した時間幅を持っている。Quirk et al.1985:209 は以下の例を挙げ、(2)で進行形で表された「コーヒーを淹れる」という行為は一定の継続時間幅を持ち、「私たちが到着した」時間が、進行形で表された「コーヒーを淹れる」という行為の継続時間の中に含まれている関係を表していると指摘している。

- (1) When we arrived, Jan made some fresh coffee.
(私たちが到着すると、ヤンがコーヒーを淹れてくれた。)¹⁾
- (2) When we arrived, Jan was making some fresh coffee.
(私たちが到着した時、ヤンがコーヒーを淹れているところだった。)

進行形を用いていない(1)では私たちが到着した後にコーヒーを淹れたという時間の前後関係があるが、進行形を用いた(2)では、主節で表されている行為(“was making some fresh coffee”)を行為 B、従属節で表されている行為(“arrived”)を行為 A とすると、時間軸上で B は時間幅を持つので、行為 A は行為 B の時間内に含まれている関係にある。

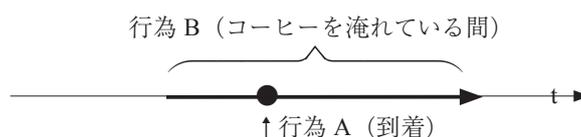


図1

英語の進行形には様々な用法があるが、本稿ではその中でも行為解説の進行形と呼ばれる用法を取り上げる。友澤 2004:84 は以下の例を挙げる。

- (3) When he said that, John was smiling. (そう言った時、ジョンは笑っていた。)
- (4) When he said that, John was lying. (そう言った時、ジョンは嘘をついていた。)

(3)は進行形を用いた「笑う」という行為が一定の継続時間幅を持ち、何かを「言った」時間が笑っているという継続時間内に含まれている。一方、行為解説の進行形を用いた(4)にお

1) 以降、特に断りのない限り、先行研究の用例や本稿で収集した用例の日本語訳は本稿の筆者によるものである。

る動詞の時間関係は異なる。(4)では「嘘をつく」という行為が継続している時間内に何かを「言う」という行為が行われたのではない。従属節の表す「言う」という行為と、主節の表す「嘘をつく」という行為は、実際には別々ではなく一つの行為なのである。行為解説の進行形を用いた(4)はその機能から言えば、従属節の「言う」という行為が実際にはどのようなことであるか(この場合はジョンの言ったことが嘘だったということ)について、解説を与えていると考えられる。すなわち行為解説の進行形とは、「発話のコンテキストの中で導入される自分や他者の行動・言動に対してそれがどのようなものであるかという解説・解釈を加える役割を果たしていると考えられるもの」(友澤 2004:85)である。

その他にも行為解説の進行形についての先行研究の指摘は少なくない。先行研究で挙げられている例として以下のようなものがある。

- (5) Do you think he was telling the truth?
(彼が本当のことを話していたと思う?) (Quirk et al.1985:198)
- (6) 'Were you lying when you said that?' 'No, I was telling the truth.'
(「あなたはそう言った時嘘をついていたのですか。」「いいえ、私は本当のことを話していました。」) (Leech2004:22)
- (7) When I said 'the boss' I was referring to you.
(私が「上司」と言った時はあなたのことを呼んでいたのです。) (長谷川 2005:113)
- (8) When one bows, one is conveying a message of respect toward the other person.
(お辞儀をする時には、相手に尊敬の意図を伝達しているのです。) (長谷川 2005:109)
- (9) I was only kidding you. (ほんの冗談を言っただけです。) (友澤 2004:85)
- (10) Are you implying that I'm dishonest?
(私が誠実でないとおっしゃっているのですか。) (友澤 2004:85)

(5)では解説元となる行為が明示されていないが、「...when he said that」(彼がそう言った時)ということが含意されているという。(Quirk et al.1985:198)「彼が何かを話した」という行為が行われており、その行為を通じて彼は真実を話しているのだと、行為の性質を解説しているのである。

ここまで、英語における行為解説の進行形とは何かについて概観した²⁾。では、同様の現象は中国語にも存在するだろうか。まずは先行研究を確認してみよう。

1. 2. 中国語における指摘

前述したように、中国語の進行相は副詞“在”“正”“正在”などで表されるが、本稿では副詞“在”を用いた形式を考察対象とし、副詞“在”と動詞の組み合わせで進行相を表す形式を進行形と称する。

2) 野村 2020:59 は、日本語の「もう泣くなよ。あやまつてるだろ。」のように日本語のテイル形にも行為解説の用法があることを指摘している。本稿では日本語の現象については立ち入らない。

中国語の進行相や副詞“在”についての先行研究は多いものの、その中で「行為解説」を表す進行形の存在を指摘した先行研究は管見の限り見当たらない。しかしながら、行為の進行という典型的な用法からやや外れた用法として、結果的に類似した現象に言及していると思われる指摘はある。

1. 2. 1.“在”+動詞について

潘文娱 1980:45 は、“在”は行為の進行を表す他に、行為が進行している状況が現れていること(“動作进行状态的呈现”)を重点的に表現している場合があるとしている³⁾。そこで挙げられた例の中に以下のような例がある。

(11) 这哪是打仗? 简直是在演戏!

(これのいったいどこが戦争だというのだ? まるで芝居をしているではないか!)

(12) 说呀! 我们在问你, 你知道你是犯人吗?

(言え! 私たちはあなたに質問しているのだ、あなたは自分が犯人だということがわかっているのか?)

これらの例であるが、(11)では戦争という行為が行われていることが前提となり、それが実際には芝居のようなものであると解説しているし、(12)では、「私たち」が「あなた」に質問しており、相手が趣旨を理解せず回答しないので、「これはあなたに尋ねているのだ」と説明をしているのである。英語では指摘のある行為解説の進行形に該当する例であると考えることができる。

陈月明 2000:541 は、“在”の表す進行相と“着”の表す持続相の語用論的な相違点として、“在”はある行為の実質や意図・ねらいを明らかにする機能があり、“着”には当該機能がないと指摘している。以下いずれも、実際に行っている行為について、その実質を別の言葉で解説している。これらも行為解説の進行形に該当する例であると言えよう。

(13) 其实他什么也没看进去, 他在想刚才的事。

(実は彼は何も見ても頭に入らなかった、彼は先ほどのことを考えていたのだ。)

(14) 我们在进行完全正当的学术活动, 你有什么理由没收我们的标本。⁴⁾

(私たちは完全に正当な学術活動を行っているのです、あなたには私たちの見本を没収するどんな理由があるというのですか。)

(15) 什么娱乐? 你们在搞非法活动。

(何が娯楽だ? あなたたちは非合法活動をしているのだ。)

3) 原文では“動作”だが本稿では統一して「行為」と訳しておく。また、この“呈现作用”(“呈现”のはたらき)については、それ以上の説明もなく定義も示されていないので、著者が何を指しているのかは不明確なところもある。

4) この文の文末は本来であれば“。”ではなく“?”となるべきところであるが、陈月明 2000:541 の記載通りに引用する。

1. 2. 2.“在”+動詞と共起するその他の成分について

いくつかの先行研究において、“在”+動詞の前にしばしば“是”が生起する現象が指摘されている。この点も、本稿で考察する“在”の用法と密接な関係があると考えられる。

陈月明 2000:542 は上記の指摘以外にもさらに、“是”+“在”+動詞という判断を表す文にも同様の語用論的機能があると指摘し、(16)の例を挙げる。徐晶凝 2009:368 も同様に、“在”+動詞がしばしば“是”の文で用いられることを指摘し、(17)(18)の例で説明している。これらの例も、(18)のような“似乎”を用いた推測の上での場合も含めて、ある行為がいったいどのような意味をもつことであるかということを解説している文であると考えられる。

(16) 他这样说，是在讽刺你。

(彼がこのように言うのは、あなたに皮肉を言っているのです。)

(17) 不会的！我信得过他的爱情……他是在恐吓我，想带我走。

(ありえない！私は彼の愛情は信じることができます。彼は私を脅かし、私を連れて行きたいと思っているのです。)

(18) 老大把脸转了过来，似乎是在发怒了。

(上の子はこちらに振り向いた。どうやら怒っているようだった。)

梁德惠 2012:123 は(19)を挙げ、aからcまで意味は同じであり、cの“在”は進行相の意味は非常に弱く、むしろここでは音節を長くし語気を強める働きをしているという。この「音節を長くし語気を強める働き」(“加长音节、增强语势的作用”)という説明は再検討の余地があると思われるが、“在”の本来の進行相の意味が非常に弱いという指摘は、cが「彼ら」の行為の実質を説明している行為解説の進行形であることを物語っている。

(19) a. 他们挂宪政的羊头，卖一党专政的狗肉。

b. 他们是挂宪政的羊头，卖一党专政的狗肉。

c. 他们是在挂宪政的羊头，卖一党专政的狗肉。

(彼らは立憲政治の看板を掲げ一党独裁の犬の肉を売っているのだ。)

また、沢田 1983 は、“在”+動詞が様々な成分と共起することを多くの実例をもって分析している。その中で“是”と共起して「自分の行為の意図を説明したり、他人の意図を推測する文」(沢田 1983:445)となるケースを指摘している。以下のように日本語訳が「テイル」形でない場合があり、その場合の“在”は進行相というアスペクト以外に伝達している機能があると考えなければならないという。(沢田 1983:444)

(20) これは刑事訴訟法～による権利の行使であります。

我是在行使刑事訴訟法～所规定的权利。

さらに、“在”+動詞は“好像”“仿佛”“似乎”のような推測・比況を表す副詞ともよく共起するという。本稿では、“是”も含めこれらの成分が“在”+動詞と共起し行為解説の進行形を構成している実例についてもその解釈を試みる。

2. 実例分析

以下では、先行研究の指摘も踏まえた上で、行為解説の進行形が出現しやすいいくつかのパターンに分けて、実例を分析してみよう。以降、用例は全て北京語言大学のBCCコーパス (<http://bcc.blcu.edu.cn/>) から収集したものである。ジャンルの検索範囲は「文学」とした。

2.1. “在”+動詞

“在”に動詞が後置され行為解説の進行形となっている例には、以下のようなものがある。

- (21) 重庆的雾季又来临，到处是叮叮当当锤打的声音，人们在重建家园。活儿干得很快，只几个月的功夫，战争创伤就几乎看不见了。 (老舍 / 鼓书艺人)
(重慶の霧の季節がまた訪れ、至る所でカチンカチンというハンマーの音がした。人々は郷里を再建していたのだ。仕事は進むのが早く、数ヶ月たっただけで戦争の傷跡がほとんど見られなくなった。)
- (22) “正是根据该条款，我拒绝回答与本案无关的问题。”
“不，我所问及的恰恰是本案的关键所在。”李建平拒不回答。
“我在等你。”老单说，“你在浪费时间。”李建平仍不回答。 (王朔 / 枉然不供)
(まさに当該条項に基づき、私は本案件と無関係の問題に回答するのを拒否する。」「いや、私が尋ねていることは、まさしく本案件のキーポイントとなることなのだ。」李建平はあくまでも答えなかった。「私はあなたを待っています。あなたは時間を浪費しているのだ。」と単さんは言ったが、李建平はやはり答えなかった。)
- (23) 他懂得这话所含的嘲笑意义。那是同伴在取笑他，值不得生气。 (沈从文 / 建设)
(彼はこのせりふに含まれた嘲笑の意味を理解していた。それは仲間が彼のことをからかっていたのだ。腹を立てるほどのことではなかった。)
- (24) 一切义务仿佛都是必要的，权利则完全出于帝王以及天上神佛的恩惠。中国人读书，就在承认这个法则，接受这种观念。 (沈从文 / 中国人的病)
(一切の義務はあたかも全て必要なようであったが、権利は完全に帝王や天上の神仏の恵みからきたものだった。中国人が学問を学ぶのは、この法則を認め、このような思想を受け入れることであった。)
- (25) 胖子说：“我这腰粗，你抱不住的。”戚子绍用力抱了一下，放下了，说：“你要不是我乡党的老婆我肯定就把你……”戚子绍知道自己在应付，但胖子也是女人，需要安慰的，果然瞧见胖子高兴了，在说：“我其实不是胖，是丰满哩。” (贾平凹 / 猎人)
(太っちょは「私の腰は太いから、あなたは抱きかかえられないわよ。」と言った。戚子紹は力を込めて抱きしめてから放し、「あなたがもし同郷の人の女房でなかったら、私はきっとあなたを…」と言った。戚子紹は自分はいいかげんにあしらっているのだが、太っちょも女なので慰めてあげないといけないと分かっていた。案の定、見ると太っちょは機嫌がよくなり、「私は太っているんじゃないよ、ふくよかなのよ。」と話していた。)
- (26) 她懒洋洋地说：“你装什么糊涂？”来双瑗激昂地说：“我没有装糊涂，是你在装糊涂！” (池莉 / 生活秀)
(彼女は気だるそうに「何しらばっくれているのよ。」と言った。来双瑗は激昂して「しらばっくれてなんかないわよ、しらばっくれているのはあなたでしょう！」と言った。)

(27) 对于我们的到来他非常吃惊，但也很热情，问喝酒不，从床下提出了一捆葡萄酒，却怎么也打不开软木塞，就骂：真讨厌，送人酒不送个起子?! 我知道他在显摆；我只是笑。
(贾平凹 / 高兴)

(私たちが来たことに彼は非常に驚いていたが、とても親切で、酒でも飲まないかと、ベッドの下からひとくくりのワインを取り出した。しかしコルク栓をどうしても開けることができず、「嫌になっちゃうな、人に酒を贈っておいて栓抜きは贈ってくれないなんて?!」と悪態をついた。彼は酒を見せびらかしているのだと私は分かったが、ただ笑って済ませた。)

(21) では、街の至る所でハンマーの音がし、工事が行われているということが何を意味しているかと言うと、戦後の街の再建をしているのだと解説をしている。(22) では、回答を拒否していることが、言い換えると時間を浪費していることになっているのだと解説しているのである。(23) から(27) の例においても同様に筆者による解説の意図が認められる。

2. 2. “是”+“在”+動詞

先行研究の指摘にもあるように、“是”を用いた話者の判断を表す文に“在”+動詞が生起した“是”+“在”+動詞というパターンも常用される。

(28) 他突然想起来了，丹珏的英文文法之所以拘谨，因为她用的是官方语言。她不是在和他谈话，而是在对敌喊话。
(严歌苓 / 陆犯焉识)

(彼は突然思い出した。丹珏の英語の文法が堅苦しいのは、彼女が使っているのが官僚の言語だったからだ。彼女は彼と話をしていたのではなく、敵に呼びかけを行っていたのである。)

(29) “我要是给她吃好的，”许三观指着许玉兰说，“我就是包庇她了，我让她只吃米饭不吃菜，也是在批斗她……”
(余华 / 许三观卖血记)

(「私がもし彼女に美味しいものをやったら」許三観は許玉蘭を指しながら言った。「私は彼女をかばっていることになる。彼女にはご飯だけを食べさせておかずは食べさせないのも、彼女を批判闘争していることになるのだ。)」

(30) 这个精明强干的家伙，他的一言一行，他故意同我扯开距离，他刚才说的那些话——尽管是用了那样一种傲慢不逊的口吻，都是分明在告诫大家，今后要在这块地方混下去，就得格外小心谨慎，彼此不要拉得太紧……只不过——只不过这种告诫，其实也算不得什么大逆不道，尽可以明明白白地说出来。
(刘斯奋 / 白门柳)

(この有能で精力的なやつは、言う事なす事が故意に私と距離をとっているが、彼が先ほど話したことは、傲慢で不遜な話しぶりではあったが、全てははっきりと皆に、今後ここでやっていくには注意深く慎重にならなければならない互いにあまり密な関係を持つてはいけなと、警告を与えていたのだ。ただ、この警告は実は大逆無道とは言えず、はっきりと言葉に出してもいいのである)

(28) では、“不是～而是…”という否定と肯定の組み合わせを用いて、彼女が英語で話している行為の実態が、単なる彼との話ではなく、敵への呼びかけだったのだと解説している。(29) では、彼女におかずは与えず米のご飯だけを与える行為が、批判闘争に等しいのだと説明しており、また(30) では、傲慢で不遜な話しぶりの言葉も、実は皆に警告を与えていたのだと、その内容を解説している。このような行為解説の進行形における“是”の機能については第3章で詳述する。

2. 3. “像/好像/仿佛/似乎”（+“是”）+“在”+動詞

沢田 1983 や 讚井 2000 の指摘にあるように、“在”は“好像”“仿佛”“似乎”のような推測・比況を表す副詞ともよく共起し、一つのパターンを構成している。

- (31) “由于你精神上的高度紧张，胃肠蠕动几乎完全终止。这块肿物就显出了恶性病变的征候……”教授的语调徐缓平和，像在念一册古旧的线装书。（毕淑敏/教授的戒指）
 （「精神が高度に緊張しているため、胃腸の蠕動がほぼ完全に止まっている。この腫れも悪性の病変の兆候を示している……」教授の口調はゆっくりと穏やかであり、まるで古い糸綴じ本を読んでいるようだった。）
- (32) 姑妈这时却不言声儿，闷头吃她精心制作的打卤面，仿佛在咂摸滋味儿，其实，她的心思已经全然不在这上头了。（霍达/穆斯林的葬礼）
 （おばはこの時ものを言わず、脇目もふらずに彼女が心を込めて作ったあんかけうどんを食べた。まるで味をみているようだったが、実は彼女の心はもう全くうどんにはなかった。）
- (33) 三四个玩偶挤在墙角，拥着一个站在矮几上的洋娃娃，她金发碧眼，穿着藕荷色的短裙，举着胖胖的小手，似乎在观察什么，十分可爱。（宗璞/东藏记）
 （3、4 個の人形が壁の隅に置いてあり、背の低い机に立っている西洋人形を囲んでいた。人形は金髪で青緑色の目をしており、薄紫色の短いスカートを履き、小さな手を挙げて、まるで何かを注意深く見つめているかのようで、とても可愛かった。）
- (34) 她说我是“混蛋逻辑”，我觉得老师对我的评价十分公正，听起来她好像是在骂我，但其实是在表扬我。（莫言/四十一炮）
 （彼女は私のことを「ばかな論理」だと言った。私は先生の私に対する評価は公正だと思った。聞くとまるで彼女は私を叱っているかのようだが、実は私のことを褒めてくれていたのだった。）

比喩表現と行為解説の機能とは一見結びつきにくいかもしれないが、“在”+動詞が、「行為 A は言葉を変えれば行為 B なのである」と断言しているのに対して、「行為 A はまるで行為 B のようなものなのである」と、同一視はしないものの、行為 B の比喩を用いて行為 A がどのようなものなのかを説明しており、広義においては行為解説の一種であるとみなすことが可能であろう。例えば (31) では、教授がゆっくりとした口調で語るのが、まるで古い糸綴じ本を朗読しているような口調であったと、副詞“像”を用いた比喩によって比喩を用いてその行為の様子を解説しているのである。副詞“仿佛”、“似乎”、“好像”を用いた (32) から (34) においても、同様の機能が認められる。

3. 行為解説機能の発生原因と表現意図

3. 1. “在”による行為の前景化

以下では、行為解説という機能が生じる要因を、副詞“在”の文法的意味と結びつけて考察する。ここでポイントとなるのは、副詞“在”の持つ前景化機能である。

副詞“在”が前景化 (foregrounding) 機能を有していることは、梁德惠 2012、杨西彬 2013、讚井 2000 など多くの先行研究が指摘していることである。“在”は完了した (perfective) 出来事全体を一つの時間軸上の塊として述べるのではなく、出来事のうち未完了の (imperfective) 内部

に焦点を当て、その内部の視点⁵⁾からその行為がどのようなものであるかを述べるものである。よって「在」+動詞は、その行為が何であるかを問題とする場面、すなわち行為自体を尋ねる疑問文とそれに対する回答、また自分が何を行っているかを相手に伝える文で用いることが可能である。他方では状態の持続を表す「着」が、その文法的機能故に「動詞+「着」」を談話の中で背景化 (backgrounding) させるという機能を持つため、そのような文脈で用いることができないこととは対照的である。

- (35) a. 妈妈读着信，脸上露出高兴的神色。
(お母さんは手紙を読むと、嬉しそうな顔つきになった。)
b. ? 妈妈在读信，脸上露出高兴的神色。
c. 妈妈在读信，你别打扰她。
(お母さんは手紙を読んでいるから、あなたはお母さんの邪魔をしないでください。)
(张新华 2020:96)
- (36) a. “谁在说话？”“他在说。”
(「誰が話をしているの？」「彼が話をしています。」)
b. “谁在说话？”“*他说着。”
(陈月明 2000)
- (37) a. 快告诉他，我们在找人。(私たちは人を探しているのだと早く彼に伝えてください。)
b. *快告诉他，我们找着人。
(陈月明 2000)
- (38) a. 他在写作业吗？(彼は宿題をしているのですか。)
b. ? 他写着作业吗？
(杨西彬 2013)
- (39) a. 他在吃饭还是在看书？(彼は食事中ですか、それとも本を読んでいるのですか。)
b. *他吃着饭还是看着书？
(杨西彬 2013)

(35) a. b. では、主節「脸上露出高兴的神色」が、意味の重点が置かれている位置であるので、従属節は「妈妈读着信」のように背景化させなければならず、「妈妈在读信」では不自然になる。一方 c. のように「妈妈在读信」に意味の重点が置かれている文では、前景化の機能を持った「在」を生起させた形が自然になる。(36) から (39) では、全て「何を行っているか」という行為の内容を前景化させ聞き手に伝達したい文なので、「在」が用いられる。

行為に焦点を当ててそれを前景化させる「在」の前景化機能と、「いったいどのような行為であるのか、何を行っているのか」を述べる行為解説の機能が、極めて親和性が高いことは明らかであろう。行為解説の機能は、その行為を前景化させる機能を持つ「在」であるからこそ持ちうる機能であって、背景化の機能を持つ「着」は担うことができない機能である。

3. 2. 焦点マーカー“是”による行為の焦点化

もう一つ、「在」+動詞の前に「是」が生起した「是」+「在」+動詞という形式がよく見られることの意味を考えてみよう。

5) 三宅 2022 を参照。「在」の内部の視点についての言及は、张新华 2020:72 “内部视角”、徐晶凝 2009:363 “内部时间过程”、李明晶 2013:144 “界内体”、陈前瑞 2008:246 “内部视点体”、Xiao&McEnery 2004:214 “The progressive *zai* makes reference to the internal structure of a situation and presents the situation from within.” など多くの先行研究に見られる。

このような場合の“是”は、焦点マーカー (focus marker) として用いられている。方梅 1995:282 によると、“是”は焦点マーカーとして様々な成分を対比焦点 (contrastive focus) とすることができる⁶⁾。

- (40) a. 是是我们明天在录音棚用新设备给那片片子录主题歌。
 (私たちが、明日スタジオで新しい設備を使ってあの映画の主題歌を収録します。)
- b. 我们是明天在录音棚用新设备给那片片子录主题歌。
 (私たちは、明日、スタジオで新しい設備を使ってあの映画の主題歌を収録します。)
- c. 我们明天是在录音棚用新设备给那片片子录主题歌。
 (私たちは明日、スタジオで、新しい設備を使ってあの映画の主題歌を収録します。)
- d. 我们明天在录音棚是用新设备给那片片子录主题歌。
 (私たちは明日スタジオで、新しい設備を使って、あの映画の主題歌を収録します。)
- e. 我们明天在录音棚用新设备是给那片片子录主题歌。
 (私たちは明日スタジオで新しい設備を使って、あの映画の、主題歌を収録します。)

このように“是”は、焦点マーカーとして動作主、時間、場所、道具などの様々な成分の前に置かれ、それらの成分が対比焦点であることを示す働きを有している。

- (16) 他这样说，是在讽刺你。(再掲)

のように、焦点を当てた“是”の後の部分は、話し手が聞き手に対して伝達したい意味の重点が置かれる場所である。そこに動詞句が置かれるということは、何を行っているかという行為の内容を聞き手に対して重点的に伝達していることになる。また、文の中である部分に焦点を当てるといことは、その部分に際立ちを与え前景化させることに他ならない。このように、焦点マーカー“是”は、前景化機能を持つ“在”とともに用いられることにより、“在”の持つ行為解説の機能を補強していると考えられる。

3. 3. 行為解説の進行形の表現意図

本節では、以上見てきた行為解説の進行形はどのような場合に用いられるのか、その表現意図は何かという点について考察する。

一般的に動作主が自らの意思に基づいて何らかの自主的な行為を行う時、その行為によって最終的に何を達成しようとするかという目的・意図を持って個別の行為を行う。目的・意図は、行為全体が完了すると、結果として実現する。この動作主が行う具体的な個別の行為と、目的段階も含め俯瞰的に見た行為全体の関係を、先行研究の挙げるいくつかの具体例をもって説明する。

王媛 2012:239 によると、例えば“寄包裹”(小包を送る)という行為⁷⁾は、実際には動作主が現実に行っている具体的な行為としては、梱包したり、伝票に記入したり、重さを量ったり、代

6) 焦点には、自然焦点・対比焦点・話題焦点の3つがあり、ここでは対比焦点について議論している。詳細は劉丹青、徐烈炯 1998 を参照。(40) は日本語訳でその意味の区別を示すのは難しいが、それぞれ“是”の直後の成分が焦点としてマークされている。

7) 王媛 2012:239 は“事件”(出来事)という用語を用いているがここではあくまでも行為の段階について議論しているものと思われるので、本稿では行為という用語を用いる。

金を支払ったりといった、様々な個別行為の集合である。これらの個別の行為を王媛 2012:239 は“子事件”と称している。

また、Vlach,F.1981:288 も、家を建てる (“build a house”) という行為は、釘を打ったり材木をのこぎりで切ったりといった様々な個別の行為から構成されており、家を建てるという結果段階に至る単一のプロセスとして特徴付けることはできないと指摘している。

张新华 2020:71 は動詞分類のうちの一類として“复合动作动词” (複合動作動詞) を挙げ、この動詞は、その内部に多くの行為段階を含んだ総体的な行為であるという。例えば张新华 2020:72 は“洗 (衣服)” の例を挙げ、これは (水を使った手洗いの場合) 衣服を水につけたり、洗剤を入れたり、衣服を揉んだり、脱水や乾かしをしたりといった“次事件” から構成されているとする。

以上の点を踏まえた上で、行為解説の機能について図 2 で説明する⁸⁾。動作主が何らかの意図をもって、個別の行為を行う。本稿では以降この個別の行為を原初的行為 (primitive actions) と称する⁹⁾。時間軸上で原初的行為を行った結果、ある目的が結果として達成される。本稿は、行為解説の進行形の表現意図とは、話者が原初的行為に対して「目的段階を含めた行為の読み直し」を行うことであると考え。王媛 2012:239 の言う“寄包裹” (小包を送る) の例で考えると、郵便局で梱包したり、伝票に記入したり、代金を支払ったりという個別行為は、送付先に小包を送り届けるという目的のために行っていることである。郵便局で行っているそれらの原初的行為は、相手に送り届けるという目的段階まで含めて俯瞰的に見ると、小包を送るという総体的な行為としてこれを読み直すことができるわけである¹⁰⁾。

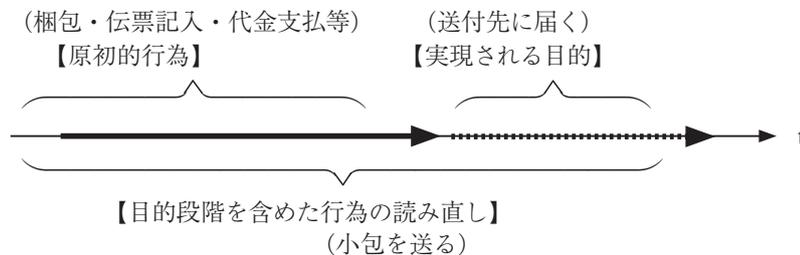


図 2

8) 清水 2013 による英語の行為解説の進行形の分析を参考にした。ただし、清水 2013、Verspoor1996 は、動作主が何らかの行為をしようと考え、心の中で意図を持った段階から含め、意図と行為の因果連鎖 (“causation chain”, Verspoor1996:425) も分析に含めているが、本稿は動作主が実際に行為を起こしてから後の段階を考察対象とする。意図と行為の関係については哲学における研究もあり (Davidson1980:83-102, Essay5. Intending)、本稿ではこれ以上は立ち入らない。なお、中国語では動詞の表す行為が結果を含意しないことが多く、それが結果補語の生産的な使用の原因になっているが、本稿の分析では実現済みの行為に考察対象を限定しているわけではないので、結果段階が実現済みかどうかという点は考察には含めていない。

9) Davidson1980:49-61 を参照。「原初的行為」という訳語は服部裕幸・柴田正良訳 1990 に拠った。王媛 2012 の言う“子事件”、张新华 2020 の言う“次事件”のことである。なお、総体的な行為全体を「行為」とし、一方それを構成する個別の行為を「動作」と呼ぶこともできる。陆丙甫 1993:76 を参照。

10) 1.2.1. でも述べたように、陈月明 2000:541 は、“在”が語用論的意味として行為の“用意” (意図、ねらい) を表すとも言及しているが、そのコンセプトは本稿の述べる「目的段階」と合致し注目値する。

前掲の実際のコーパスの例でこの点を解説しよう。

- (21) 重庆的雾季又来临，到处是叮叮当当锤打的声音，人们在重建家园。活儿干得很快，只几个月的功夫，战争创伤就几乎看不见了。(老舍 / 鼓书艺人)

(21) では、“在重建”で表されている実際の行為としては、家を建てたり、ビルを建設したり、道路を修復したりといった、様々な原初的行為である。これらの原初的行為は、郷里全体が再建されるという目的達成のために行っているのである。行為解説の進行形とは、郷里が再建されるという目的段階も含めて見ると、現在行われている原初的行為は、最終的には郷里を再建していることになるのだと、原初的行為が最終的には何を意味するかと目的段階を含めた行為として読み直しているのである。さらに次の前掲例を見てみよう。

- (22) “正是根据该条款，我拒绝回答与本案无关的问题。”
 “不，我所问及的恰恰是本案的关键所在。”李建平拒不回答。
 “我在等你。”老单说，“你在浪费时间。”李建平仍不回答。(王朔 / 枉然不供)

この例の場合、相手が回答を拒否している。それに対して、回答を拒否しずっと黙っていたら、最終的に時間の浪費になったという結果をもたらすと言っているのである。(21) では家を建てたりするのは街を再建するためという意図された目的だったが、(22) は回答しないと時間の浪費という結果をもたらすことになるという、意図しない偶然の結果の例である。回答を拒否し続けることは時間を浪費することになると話者が相手に伝え、動作主の意図の有無に関わらず、結果的にはそのような目的・意図を持つ行為と同じ結果をもたらすのだと相手に警告しているのである。

さて、友澤 2004:84 の挙げる行為解説の進行形の例 (4) を中国語に訳すと、(41) のようになる。この (41) は、もしも節の前後の動詞句を入れ替え (42) のように言うと、非常に不自然になるという。

- (4) When he said that, John was lying. (そう言った時、ジョンは嘘をついていた。)(再掲)

(41) 当约翰说这句话的时候，他在撒谎。¹¹⁾

(42)? 当约翰撒谎的时候，他在说这句话。(ジョンはうそをついた時、彼はこう言っていた。)

(42) が不自然になるのは、“在”と共起し行為の解説の側に立つ“说这句话”(こう言う)が目的段階を含まない、原初的行為だからである。「言う」という行為と、「嘘をつく」という行為の、どちらにより明確な行為の目的やもたらす結果の段階が含意されているかは明らかであろう。

11) (41)(42)の自然さの判断は、中国語母語話者の確認を経ている。なお、「ジョン」と「彼」の語順を英語と同じようにして“当他说这句话的时候，约翰在撒谎。”とすると、“他”と“约翰”は同一人物ではないという理解になるという。また、(41)は外国語の翻訳のような語感があり、実際には“了”を用いて“当约翰说这句话的时候，他撒谎了。”のように表現する場合もある。以下の、行為解説の進行形“在撒谎”の例も、中国語以外の外国語小説の中国語への翻訳である。

我对你说的都是真话，但是你的意思是说我在撒谎。(アーサー・ヘイリー / Airport) (私があなたに言っていることは全て真実だが、あなたは私が嘘をついていると言っている。)

なお、本稿で分析しているコーパスから収集した用例は、全て中国語母語話者の作者の文の例である。

おわりに

本稿は、以下の3点を論じた。

- [1] 行為の進行を表す副詞“在”は行為解説の機能を持つ場合があること。
- [2] 行為解説の機能は、行為が“在”によって前景化されたり、さらに焦点マーカー“是”によって焦点化されたりすることに動機付けられていること。
- [3] 行為解説の進行形は、「目的段階を含めた行為の読み直し」という表現意図を持っていること。

“When he said that, John was lying.”(4)再掲)のような例からわかるように、行為の目的とは、往々にして話し手が聞き手に対して何らかの働きかけを試みることである。(4)では、嘘をつくという行為は、聞き手を騙そうという目的のもと、聞き手に対して働きかけを行っているわけである。このように考えれば、行為解説の進行形とは三木 2022 の言う「マニピュレーション」を具現化したものだと解釈する可能性も視野に入ってくるであろう。このように、話し手と聞き手のインタラクションの中で生まれた副詞“在”の語用論的な性質にはどのようなものがあるのか、今後さらに考察を進めていきたい。

参考文献

- 陈前瑞2008《汉语体貌研究的类型学视野》商务印书馆。
- 陈月明2000《时间副词“在”与“着1”》，陆俭明主编《面临新世纪挑战的现代汉语语法研究》山东教育出版社，536-547页。
- 方梅1995《汉语对比焦点的句法表现手段》，《中国语文》第4期:279-288页。
- 李明晶2013《现代汉语体貌系统的二元分析：动貌和视点体》北京大学出版社。
- 梁德惠2012《汉语有标记进行体研究》现代教育出版社。
- 刘丹青、徐烈炯1998《焦点与背景、话题及汉语“连”字句》，《中国语文》第4期:243-252页。(刘丹青2019《语序类型与话题结构》商务印书馆。)
- 陆丙甫1993《核心推导语法》上海教育出版社。
- 潘文娣1980《谈谈“正”“在”和“正在”》，《语言教学与研究》第1期:41-50页。
- 王媛2012《谓词性结构的事件性和现代汉语进行体标记的语义分析》，《当代语言学》第14卷:234-245页。
- 徐晶凝2009《时体研究的语篇、情态整合视角——以“在”“着”为例》，《语言学论丛》第40辑:355-375页。
- 杨西彬2013《“在+V”与“V+着”的格式义及其对句法语用的制约》，《语言教学与研究》第1期:56-62页。
- 张新华2020《汉语叙实谓词研究》复旦大学出版社。
- 野村益寛2020『英文法の考え方—英語学習者のための認知英文法講義—』開拓社。
- 長谷川存古2005「いわゆる「行為解説の進行形」の概念構造について」、『英語のテンス・アスペクト・モダリティ』英宝社、109-124頁。
- 三木那由他2022『会話を哲学する コミュニケーションとマニピュレーション』光文社新書。
- 三宅登之2022「副詞“在”による事象の統合化機能」、『東京外国語大学論集』第103号、33-49頁。
- 讀井唯允2000「“在等”“等着”“在等着”——“在”と“着”の文法的意味と語用論」、『人文学報』第311号、53-73頁。

- 沢田啓二1983「“在”小考——共起する成分との関連から——」、『伊地智善継・辻本春彦両教授退官記念中国語学・文学論集』東方書店、439-464頁。
- 清水啓子2013「「行為解説」の進行形に関する認知言語学的考察——行為と意図のメトニミー関係から——」、『熊本県立大学文学部紀要』第19巻、95-118頁。
- 友澤宏隆2004「行為解説の進行形の認知的分析」、『言語文化』41号、81-94頁。
- Davidson, D. 1980. *Essays on Actions and Events*. Oxford University Press. (D. デイヴィドソン著、服部裕幸・柴田正良訳1990『行為と出来事』、勁草書房。)
- Leech, G. N. 2004. *Meaning and the English verb*. 3rd ed., Longman.
- Quirk, R., S. Greenbaum, G. Leech and J. Svartvik. 1985. *A Comprehensive Grammar of the English Language*. Longman.
- Verspoor, M. 1996. The story of -ing: a subjective perspective. In M. Putz and R. Dirven (eds.), *The Construal of Space in Language and Thought*. Walter de Gruyter, 418-454.
- Vlach, F. 1981. The semantics of the progressive. In Tedeschi, P. and Zaenen, A. (eds.), *Syntax and Semantics Volume 14, Tense and Aspect*. Academic Press, 271-292.
- Xiao, R. and McEnery, T. 2004. *Aspect in Mandarin Chinese : A Corpus-based Study*. John Benjamins.